

1. 行政一般

	タイトル	意見等
1	四国知事会議	○ 四国知事会議の常任世話人の後藤田正純徳島県知事は四国知事会議を通じて、四国州の道州制の導入をしなければならない。 ○ 四国知事会議の常任世話人の後藤田正純徳島県知事は四国知事会議を通じて、四国8の字高速道路ネットワーク網の早期の完成をしなければならない。 ○ 四国知事会議の常任世話人の後藤田正純徳島県知事は四国知事会議を通じて、四国88箇所霊場と遍路道をユネスコの世界文化遺産への登録をしなければならない。 ○ 四国知事会議の常任世話人の後藤田正純徳島県知事は四国知事会議を通じて、四国にプロ野球球団の設立をしなければならない。 ○ 四国知事会議の常任世話人の後藤田正純徳島県知事は四国知事会議を通じて、四国四県持ち回りで四国絆祭りを開催しなければならない。
2	四国知事会議	○ 四国知事会議の常任世話人の後藤田正純徳島県知事は四国知事会議を通じて、四国四県において地上波民間テレビ放送局の完全電波四波化を実現しなければならない。 ※ TBSテレビ系列のテレビ局⇒香川県はRSKテレビ、愛媛県はitvあいテレビ、高知県はKUTVテレビ高知、徳島県は系列局はない ※ フジテレビ系列のテレビ局⇒香川県はOHKテレビ、愛媛県はEBCテレビ愛媛、高知県は高知さんさんテレビ、徳島県は系列局はない ※ テレビ朝日系列のテレビ局⇒香川県はKSB瀬戸内海放送、愛媛県はeat愛媛朝日テレビ、徳島県と高知県は系列局はない ※ 徳島県は全国でも数少ない四国放送一局だけの地上波テレビ放送局の過疎県⇒四国放送が徳島県のテレビ電波を独占、テレビ局間での競争がない ※ 徳島県は山梨県、福井県、佐賀県、宮崎県と共に、株式会社ビデオリサーチのテレビ視聴率調査の調査対象外の県となっている。 ※ 香川県と岡山県は地上波テレビ放送局の合区、鳥取県と島根県は地上波テレビ放送局の合区 ※ 首都圏一都六県の地上波テレビ広域放送圏、近畿二府四県の地上波テレビ広域放送圏、中部三県の地上波テレビ広域放送圏 ※ テレビ東京系列のテレビ大阪は大阪府内のみで視聴可能、テレビ愛知は愛知県内のみで視聴可能、テレビせとうちは香川県と岡山県で視聴可能
3	市県民税の減税、一律給付金の支給について	徳島県は、地方都市の中でも田舎で、過疎高齢化が進んでいます。特に県西部は酷いです。三好市は、平均年齢が63歳と、高齢化社会で、人口減の割に、税金は高い、この物価高で、県として減税もしない。街作り政策で、徳島市ばかりに、補助金や、新ホール建設、アリーナ建設、徳島市に注力し過ぎではありませんか？徳島県は、南から、西まで幅広く県民が住んでいます。県都だけが、県民生活圏ではありません。隣県、香川や、愛媛に仕事に行かなきゃ、生活できないのが、県西部の現実です。県西部の企業は特に酷いです。美馬市～三好市までは、賃金を最低賃金ギリギリに設定し、安月給の割に、市県民税は、高い、現役世代の負担軽減策を一向に実行しないのは何故ですか？税を納めてるものとして、減税は、県単位でも可能はずです。県都は、人口が多いが、県都以外の地域との格差を産むのは、良くないと思います。その為、県庁職員を、増やすこと、県税の減税45%を決断してやってください。箱の物より、県民生活が先ずは第1主義にしてください。例えば、減税と、セットで、補助金を支給する。一律10万給付するなど即効性のある、ことをやってください。魅力的な県にならないのは、行政の怠慢です
4	持続可能なまちづくりについて	○ 後藤田正純徳島県知事は西日本電話株式会社(NTT西日本)と一体となつて、ICT×持続可能なまちづくりの取り組みを推進しなければならない。併せて、徳島県全体がNTT西日本のフリッツ光クロス(10Gps)のサービス提供エリアになるようにしなければならない。 ※ オンラインゲーム、動画ライブ配信(世界に向けて阿波おどりの情報発信)、オンライン授業、オンライン会議など
5	AIカメラを使つてのスポーツ中継を通じての地方活性化の取り組みについて	○ 後藤田正純徳島県知事は西日本電信電話株式会社(NTT西日本)と一体となつて、AIカメラを使って徳島ヴォルティス、徳島ガンバローズ、徳島インディゴソックスのスポーツ中継を通じて、徳島県における地方活性化の取り組み推進を行わなければならない。 ※ NTT西日本の地域スポーツ映像配信事業の取り組み⇒自動追跡アルゴリズムを持つAIカメラを活用して、徳島ヴォルティス、徳島ガンバローズ、徳島インディゴソックスの生中継放送における「自動撮影」、「自動編集」、「自動配信」の映像の自動化を図る。 ※ 徳島県における光CATV世帯普及率は、91.3%で全国第一位 ※ 徳島県全地域をNTT西日本のフレッツ光クロスBiz(10Gbps)のサービス提供エリアにする。
6	中小企業対策	○後藤田正純徳島県知事は、徳島県に四国経済産業局中小企業課並びに中小企業基盤整備機構四国本部のICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設しなければならない。

1. 行政一般

	タイトル	意見等
7	未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりについて	○ 後藤田正純徳島県知事は未来に継げる徳島の実現に向けた国際的な地域づくり並びに魅力的な地域づくりの施策の取り組みとして 1. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県を「いのち輝く世界の理想郷 とくしま」及び「いのち輝く世界の桃源郷 とくしま」にしなければならない。 2. 後藤田正純徳島県知事は、「ごみが一つも落ちていない 美しくて綺麗な ふるさと徳島県」にしなければならない。 3. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県に世界の名門大学を誘致開学しなければならない。 4. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県に国際連合本部事務局の徳島事務局を誘致開設しなければならない。 5. 後藤田正純徳島県知事は、百人以上の雇用力がある海外有力企業の百社以上の企業立地をしなければならない。 ⇒ ステラ、ボーイング社、エアバス社、フォルクスワーゲン社、バイエル社、ファイザー社、インテル社、アップル社など 6. 後藤田正純徳島県知事は、太平洋新国土軸の形成をしなければならない。 7. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県を「世界の台所」並びに「世界の新鮮食料供給基地」にしなければならない。
8	未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりについて	○ 後藤田正純徳島県知事は、未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりについて 1. 後藤田正純徳島県知事は、「ヒューマン・リゾートとくしまの海と森」の推進をしなければならない。 2. 後藤田正純徳島県知事は、Web上での「インターネット徳島県博覧会」を開催しなければならない。 3. 後藤田正純徳島県知事は、「徳島県全県8Kテレビア」を推進しなければならない。 4. 後藤田正純徳島県知事は、県都・徳島市を中核市へと移行させなければならない。 5. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県を「日本のシンガポール」・「日本のプーケット」・「日本のサンペドロ」にしなければならない。
9	未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりについて	○ 後藤田正純徳島県知事は、未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりについて 1. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県に三菱商事本社並びに三菱商事四国支店(高松市)のICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設しなければならない。 2. 後藤田正純徳島県知事は、徳島文理大学を慶應義塾大学徳島校にしなければならない。 ※ 医学部並びに理工学部の開設 3. 後藤田正純徳島県知事は、鳴門教育大学を東京学芸大学徳島校にしなければならない。 4. 後藤田正純徳島県知事は、徳島市に慶應義塾徳島中等教育学校を開校しなければならない。 5. 後藤田正純徳島県知事は、神山まると高等専門学校を慶應義塾大学理工学部直轄の慶應義塾大学理工学部附属神山まると高等専門学校にしなければならない。
10	未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりについて	○ 後藤田正純徳島県知事は、未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりについて 1. 後藤田正純徳島県知事は、マリンピア沖洲を「徳島の臨海新都市」、「徳島の臨海副都心」のウォーターフロントの開発をしなければならない。 ※ 東京臨海副都心、横浜みなとみらいMM21、千葉幕張新都心、神戸ポートアイランド及び神戸六甲アイランドなど 2. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県に「徳島デイズニーランド」を開園しなければならない。 3. 後藤田正純徳島県知事は、四国リニア新幹線における「太平洋新国土軸」又は「太平洋第二国土軸」の実現をしなければならない。 ※ 中央リニア新幹線 4. 後藤田正純徳島県知事は、「GXとくしま」を実現しなければならない。 ※ 具体的には「SDGs未来型 首都とくしま」の実装、 5. 後藤田正純徳島県知事は、県都・徳島市のJR徳島駅において、公共交通系ICカード並びに自動改札機が利用できるようにする。 ※ Suica、ICOCAなど
11	未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりについて	○ 後藤田正純徳島県知事は、未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりの取り組みとして 1. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県を「日本の副首都 徳島」、「日本の第二首都 徳島」にしなければならない。 2. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県を「世界の中の徳島」にしなければならない。 3. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県を「楽し都・美し都・花の都 夢の楽園の徳島」にしなければならない。
12	県知事記者会見	ケーブルテレビで時々、知事定例記者会見を見ますが、知事の会見は良く聞き取れますが、記者の質問が聞こえにくく細かなことが聞き取りにくいのです。音響環境をもう少し良くして質問が聞き取れやすくして頂けないでしょうか。

1. 行政一般

	タイトル	意見等
13	未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりについて	○ 後藤田正純徳島県知事は、未来に引き継げる徳島の実現に向けて国際的な地域づくり・魅力的な地域づくりの取り組みとして 1. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県民一人一人が「生まれて良かった徳島県」、「豊かで住んで暮らして良かった徳島県」、「人に語れる徳島県」、「人に誇れる徳島県」を実感できるようにしなければならない。 2. 後藤田正純徳島県知事は、徳島県が「世界一！ 世界NO1!」でなければならない。 ※ 阿波踊りは世界一の踊り 阿波踊りは世界NO1の踊り⇒リオデジャネイロのカニバルのサンバの踊りと同じ ※ 大塚国際美術館は世界一の美術館, 世界NO1の美術館⇒大塚国際美術館は世界の宝物
14	後藤田知事の徳島新聞に対する態度について	ここ最近の後藤田知事の徳島新聞に対する非常識な言動の数々には、彼の知性と人間性に対する深い失望を禁じ得なかった客観的に見ても、知事の態度はあまりに大人げなく感情的であり、公人としての自覚が欠落している。 果たしてこのような情けない人間が公益を優先して、今後の公務に励むことなどあり得るだろうか？ 後藤田氏の対話不全に起因する県政上の揉め事はこの2年間で嫌というほど見てきた。実害を被った者も多いだろう。「対話不全」という徳島新聞の指摘は当然の評価であり、そこに間違いはない。 だがこの知事は他者からの批判が全く受け入れられない人間のようなのだ。己の独裁者気質のままに、ついにはマスコミを公然と侮辱し始めた。 この知事のせいで多くのものを潰され奪われた2年間だったが、その間に実害を被った県民の声を常に掲げ上げてくれたのは「徳島新聞」である。 後藤田正純のような横暴な権力者が登場した時にこそ、彼らのような地元に根差したマスコミが最も機能するのだという事がよく分かった。 まともに議論することを避けてFacebookに引きこもり、己に都合の良い言説だけを繰り返す幼稚な後藤田知事に比べて抑制の効いた文章でなお対話を呼びかける徳島新聞の態度は立派なものだ。 公人であるはずの県知事が、徳島新聞社の個人情報情報を批判的な文脈の中で公開したという事は、明らかに公権力によるマスコミへの圧力にあたる。そもそもこの知事は音楽ホールの件では自分に反対するものを「足を引っ張る存在」として分断を煽った前科がある。 その時は問責決議案を出す寸前で謝罪をしたが、やはりその性根は変わらない。 一体、徳島県政に常識は機能しているのか？ 高い倫理観を求められるはずの県知事が、子供の喧嘩のような態度で後先を考えずにマスコミを罵り、圧力をかけている。 この末期的ともいえる現状をどう考えているのか？ この問題を議会で広く議論してもらいたい。
15	身を切る改革 行財政改革の前進	○ 後藤田正純徳島県知事は、知事報酬の削減(日給月給制にする⇒ノーワーク・ノーペイの原則)、知事賞与の廃止(夏季賞与及び冬季賞与)、知事交通費旅費の廃止、知事接待交際費の廃止(吉成建設株式会社から政治献金として、822万円を受け取っている。)、知事文書通信費の廃止(知事自身のSNS交流サイトのアカウント発信をやめる)、水道光熱費の削減、新聞図書費の削減(徳島新聞の定期購読をやめる。)、知事会議費の削減(ランチミーティングをやめる)、広告宣伝費の削減による身を切る行財政改革の前進による事業仕分けで無駄な事業を排除しなければならない。 ※ 出典 簿記の勘定科目一覧表 ※ トヨタ自動車グループ各社は乾いたタオルまでも絞つて、改善や経営改革に取り組んでいる。 ※ 徳島県内の小規模事業会社・中規模事業会社の中には、日給月給制にしている企業がある。 ※ 徳島県内の小規模事業会社・中規模事業会社の中には、賞与を出さない企業がある。
16	地方創生戦国時代に徳島が勝ち抜くために	○ 後藤田正純徳島県知事は地方創生戦国時代に勝ち抜くために、徳島県のマッチ・適合した地方創生並びに地方再生を推し進め、徳島県を日本一にしなければならない。 ※ 徳島県が国内外から「徳島へ会いに行こう」にならなければならない。 ※ 徳島県が「地上の楽園」、「地上のユートピア」にならなければならない。 ※ 「明日に！未来に！夢・希望・安心が持てる徳島づくり」 ※ 新しい技術(光量子工学・光半導体工学など)を徳島県の課題解決に為に積極的に導入を図る。
17	自治体標識の更新・設置について	徳島県内を通る県道のうち、経年劣化または未設置の自治体標識が以下の路線にある。 県道16号徳島上那賀線 上勝町・勝浦町境 県道22号阿南勝浦線 勝浦町・小松島市境 県道28号阿南小松島線 阿南市・小松島市境 県道41号徳島北灘線 徳島市・藍住町境 県道220号川内大代線 徳島市・松茂町境 加賀須野橋 これらの路線に、市町村章表記の自治体標識を設置・更新してほしいです。

1. 行政一般

	タイトル	意見等
18	会計年度任用職員採用試験での不合格者への開示請求	職員採用支援では発表日から1月間は請求できるのに対し、募集案内を見ても記されていない。 県政運営に関わりたい立場から、県政に関する県民の知る権利として請求ができるようにしていただきたい。 (徳島新未来創生総合計画 戦略15)
19	令和7年度四国知事会議による緊急提言	1. 四国に四国州の道州制の導入を図る。⇒四国は一つ 四国家 ※ 徳島市が四国州の州都になる。 ※ 兵庫県の人口は約531万5000人、政令指定都市の横浜市の人口は約377万4000人 2. 四国リニア新幹線の実現 ※ これからはリニア新幹線の時代⇒中央リニア新幹線 3. 参議院選挙徳島県選挙区及び高知県選挙区における合区の解消 4. 東京大学徳島校、東京大学香川校、東京大学愛媛校、東京大学高知校の開学 5. 四国博覧会の開催と四国絆まっつりの開催
20	徳島県庁職員の喫煙について	徳島県職員と思われる方が、複数細い道で喫煙されています。 この道は極めて細いため複数の人が喫煙すると通行の妨げになりますし、たばこの煙も不可避免的に浴びることになります。 敷地内が禁煙だからといって、周辺の人々に迷惑をかけるのはいかがなものでしょうか？
21	韓国経済観光ミッション	○ 後藤田正純徳島県知事は韓国経済観光ミッションで、徳島県にサムスングループ並びにLGグループの有機ELパネル装置製造生産工場の企業立地をしなければならぬ。 ○ 後藤田正純徳島県知事は韓国経済観光ミッションで、済州島の海女と海陽町阿部の海女との海女文化を通じての国際文化交流を推進しなければならない。
22	守ろう！子どもたちの人権・命	最近、全国的な社会問題となっているSNSを通じて、いたいけな児童・生徒が連れ去りや、性被害及び特に生命を奪われるような案件が連日報道されていることを憂慮します。子どもたちはそれぞれにまだ未発達な部分が多く、良識ある周囲の大人たちに守られるべき存在です。にもかかわらず、一部の大人たちがそれを悪いことに利用している現実があります。それは決して許してはならない事です。時期的に水の事故等にも巻き込まれる危険もある中、やがて来る国政選挙等によって、子どもたちの安心・安全が担保されないような政治的空白を余儀なくされることがあってはならないことだと思います。子どもたちをあらゆる事故・事件から守ることを最優先に、県は関係各所と今一度長期休みに入るまでの準備また夏期休業中の子どもたちを見守る体勢づくりの確認作業を早急に行うべきだと主張します。各自治体とも連携しながら、救える命を一人も失うことのないようなリーダーシップを県知事を中心に執っていただくことを提案します
23	自転車王国とくしまのHP	徳島県のHP内で「自転車王国とくしま」を調べようと 担当部署「観光スポーツ文化部」を開いたが 見当たらない。それで この用語で検索したら本年4～5月に実施したプロポーザル関係のみ数件出てきた。それで さらに「ルート」を追加して再度検索したら「Tラインおすすめコース」(2013年の発信)が上がった。これは「徳島県総合地図提供システム」にもあり、県庁HPのトップページの最下部にも掲載されていて、自分も知っているが。しかもこれは県土整備部高規格道路課の扱いになっている。そして このおすすめコースのページの最下段に ようやく「自転車王国とくしま」のリンクがあった。どうやら県庁HP内には存在しない単独のHPのようだと判明した。なんで 観光スポーツ部の担当事業に県土整備部の方からアクセスしなければならないのか？ なぜ観光スポーツ部のトップページにリンクをはらないのか？ 他にいろんなリンクを貼っているのに、今年度の県予算(1,750万円)も組んでいる部門の主要事業が 前面に出ていないのは なぜか？ 外注ばかりやっていると 相互の関連性の有無、必要性を見落とす良い事例だと思う。 だから「通行止め」とかの情報は 県のHPでは検索できない ということもわかると思う、早急に改善(ただリンクを貼ればいいだけ)してください。 現状「自転車王国とくしま」にアクセスするには 県庁HPから一旦脱出する必要があるのが問題だということです。
24	県民目安箱について	○ 県民目安箱において、徳島県民一人一人との意思疎通、徳島県民一人一人とのコミュニケーション、徳島県民一人一人との心のキャチボールができていない

1. 行政一般

	タイトル	意見等
25	魅力的UPについて	○後藤田正純徳島県知事は東京一極集中型国家の現状維持を打破して、多極分散型国家への転換を図らなければならない。 ※ 具体的には、徳島県が日本国の副首都又は日本国の第二首都になる。 ※ 具体的には、徳島大学を東京大学徳島校にする。 ※ 具体的には、徳島文理大学を慶應義塾大学徳島校にする。 ※ 具体的には、徳島県に慶應義塾徳島中等教育学校を開校する。 ※ 具体的には、三菱グループ各社の徳島県への丸ごと一括全面移転を行う。 ※ 具体的には、鳴門教育大学を東京学芸大学徳島校にする。 ※ 具体的には、徳島県に四国財務省、四国経済産業省、四国総務省、四国国土交通省、四国厚生労働省、四国警察庁、四国防衛省、四国農林水産省、四国環境省を開設する。 ※ 具体的には、徳島工業短期大学を東京理科大学徳島校にする。 ※ 具体的には、徳島県立城南高等学校を東京都立日比谷高等学校徳島校にする。 ※ 具体的には、徳島県立徳島科学技術高等学校を東京都立科学技術高等学校徳島校にする。 ※ 具体的には、徳島県立城ノ内中等教育学校を東京都立小石川中等教育学校徳島校にする。 ※ 具体的には、徳島文理中学校並びに徳島文理高等学校を渋谷教育学園渋谷中学校徳島校並びに渋谷教育学園渋谷高等学校徳島校にする。